

# 平成30年度 年間指導計画

A科:生物科学科 B科:環境科学科 C科:食農科学科

|   |   |          |  |     |   |          |      |
|---|---|----------|--|-----|---|----------|------|
| 教科名   | 農 業   | 科目名      | 畜 産  | 単位数 | 2 | 履修学年・クラス | 2年A組 |
| 担当者   |   | 使用教材     | 畜産(実教)   |     |   |          |      |
| 学習目標  | ○家畜の飼育と経営に必要な知識と技術を習得する。<br>○家畜の特性や飼育環境を理解する。<br>○合理的な家畜管理と生産性の向上を図る能力と態度を育てる。                    |          |  |     |   |          |      |
| 学習方法  | ○本校で飼育している肉牛について実験・実習を通して理解を深める。<br>○家畜の生理・生態と飼育について理解する。<br>○畜産経営について理解する。<br>○畜産生産物の利用について理解する。 |          |  |     |   |          |      |
| 学習評価  | 評価の観点   |          | 科目の評価の観点の趣旨  |     |   |          |      |
|   | 関   | 関心・意欲・態度 | 家畜の飼育と畜産経営に関する諸課題について興味・関心をもち、その改善・向上を目指して主体的に取り組もうとするとともに、実践的な態度を身に付けている。           |     |   |          |      |
|   | 思   | 思考・判断・表現 | 家畜の飼育と畜産経営に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を基に、農業に携わる者として適切に判断し、表現する創造的な能力を身に付けている。 |     |   |          |      |
|   | 技   | 技能       | 家畜の飼育と畜産経営に関する基礎的・基本的な技術を身に付け、農業に関する諸活動を合理的に計画し、その技術を適切に活用している。                      |     |   |          |      |
|   | 知   | 知識・理解    | 家畜の飼育と畜産経営に関する基礎的・基本的な技術を身に付け、農業の意義や役割を理解している。                                       |     |   |          |      |
| ※定期考査については、上記の観点それぞれについて学習内容に応じて適切に配分しています。 |   |          |  |     |   |          |      |

| 学期   | 単元(題材)         | 学習内容  | 評価の観点 |   |   |   | 単元(題材)の評価規準  | 評価方法                            |
|------|----------------|---|-------|---|---|---|--|---------------------------------|
|      |                |   | 関     | 思 | 技 | 知 |  |                                 |
| 前期中間 | 人間生活と畜産        | 家畜とその役割<br>世界・わが国における畜産のあゆみと発展              | ○     |   |   | ○ | [関]家畜や飼料の種類・利用に興味・関心を持ち、その役割について理解しようと学習に意欲的に取り組んでいる。  | ・確認テスト<br>・レポート<br>・授業観察<br>・考査 |
|      | 日本畜産の動向と畜産物の需給 | 現代の畜産の特徴                                    |       |   | ○ | ○ | [思]畜産に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的な知識と技術を基に合理的に判断し、その過程や結果を適切に判断している。   |                                 |
|      | 飼料の種類と給与       | 飼料の種類<br>飼料の調達と自給飼料の利用<br>飼料の栄養価            | ○     |   |   | ○ | [技]畜産に関する様々な資料や情報を収集し、適切に選択して活用している。   |                                 |
|      | 飼料作物           | 飼料作物の特徴と利用<br>飼料作物の栽培・調製と貯蔵<br>食品製造副産物などの利用 | ○     |   |   | ○ | [知]畜産および飼料に関する基礎的な知識を身に付け、畜産の社会的な役割と環境・暮らしとの関わりについて理解している。   |                                 |
| 前期末  | 品種             | 肉牛・乳牛の品種<br>体の特徴<br>性質<br>肉牛・乳牛の一生          | ○     |   |   | ○ | [関]牛に興味・関心を持ち、その品種および消化器の働きについて理解しようと意欲的に取り組んでいる。  | ・確認テスト<br>・レポート<br>・授業観察<br>・考査 |
|      | 消化・吸収          | 消化器の特徴と機能<br>繊維の消化・吸収                       | ○     |   |   | ○ | [思]牛の品種による体の特徴から、牛および生産物の利用方法について考察しその結果を適切に表現できる。<br><br>[知]牛の品種および体の特徴について基礎的な知識を身に付けている。また、消化器の特徴を理解し、健康状態との関係について理解している。 |                                 |

|      |                |  |   |   |   |   |  |  |
|------|----------------|--|---|---|---|---|--|--|
| 後期中間 | 起源と品種・利用       | おもな品種<br>ヒツジの生産物と用途  | ○ |   |   | ○ | [関]家畜の繁殖生理について興味・関心を持ち、その働きについて理解しようと意欲的に取り組んでいる。<br>[思]ヒツジの生産物と用途および家畜の妊娠・分娩についての思考を深め、基礎的な知識と技術を基に合理的に判断し、その過程や結果を適切に表現している。<br>[技]羊毛の利用や牛の発情発見に関する基礎的な技術を身に付けている。黒毛和種の分娩予定日を計算できる。<br>[知]ヒツジの品種・飼育および牛の繁殖生理・交配・分娩について、基礎的な知識を身に付け、理解している。 | ・確認テスト<br>・レポート<br>・授業観察<br>・作品発表<br>・考査 |
|      | 生理・習性<br>飼育の実際 | 繁殖<br>成羊の管理<br>衛生と病気<br><br>発情の観察と交配<br>妊娠と妊娠の確認<br>分娩後の処理   | ○ | ○ |   | ○ |  |  |
| 後期末  | 肉牛の生理と飼育技術     | 肉牛の生理と飼育のポイント<br>子牛の生理と飼育技術<br>若雌牛の育成と繁殖雌牛の飼育<br>肥育牛の生理と飼育技術 | ○ |   | ○ | ○ | [関]肉牛の生理・飼育および畜産生産物やその利用に興味・関心を持ち、学習に意欲的に取り組んでいる。<br>[思]繁殖性の向上、肉量と肉質、乳および乳製品の定義と成分規格についての思考を深め、基礎的な知識と技術を基に合理的に判断し、その過程や結果を適切に表現している。<br>[技]関係する様々な資料や情報を収集し、適切に選択して活用している。<br>[知]子牛や肥育牛の生理と飼育技術および畜産生産物やその利用について基礎的な知識を身に付け、理解している。         | ・確認テスト<br>・レポート<br>・授業観察<br>・考査          |
|      | 牛乳の品質と利用       | 牛乳の規格と品質<br>牛乳の処理・加工と成分                                      | ○ |   |   | ○ |  |  |